

地震が起きた時のためにすべき対策

星野 圭汰

10月23日午後5時56分、その時急にテレビ  
や電気が消え、激しいゆれが起きた。そう、  
中越大地震である。ぼくはその時カゼギミだ  
つたので運良く一階にいた。だが一階でも大  
変な所はあった。台所が特にひどかった。家  
具や切れやすい物が多く、外は暗かった。た  
台所にいたお母さんは足を切ってしまった。

山古志小学校

そして外に出たのだがどこへ避難すればいい  
のか、分からなかった。とりあえず、その日  
は車の中でねることにしたが、食べる物は少  
なく、かんづめやカツプラメンが5個ずつ  
ほどしかなかった。そしてねることになった  
が、時期は秋であり寒くてねるはずがない。  
だがなんとかねることができた。  
と、このように災害準備をしてないと、  
ても苦労するのだ。なので日ごろから災害に  
備えられる事をしなければならぬ。まず道

を作っておくこと。家具を適当に置くこと、  
 な倒れて通れなくなるからだ。次に、避難場  
 所を決めておくこと。決めておかないと、安  
 全な場所が分からず危険なので必要である。  
 次に非常食である。確かにわずかにあっても  
 足りなくて、尽きてしまいかもしれないので  
 消費期限もよく見て、ためこんでおいた方が  
 良い。そして、ふと人も必要である。ねる時  
 は寒いので出しやすいようにした方がいいか  
 もしれない。

山古志小学校

他にもやってあいた方がいいことはある。非  
 常袋もその一つである。情報を聞くためのラ  
 ジオ、生きていくために一番必要な食料や水  
 ねる時のためのふとんなどを入れるには、と  
 ても便利である。それに、会議もした方が良  
 い。意見も集まるので時々やることが大切。  
 あと、心がけのために、避難訓練もした方が  
 いいかもしれない。これらをすれば、地震が  
 起きてても苦勞をせず、乗り越えられることは  
 まちがない。